

講座3 明治期の商都小樽



石炭積込風景 小樽港高架棧橋と手宮駅構内

松前藩時代ヲタルナイ場所、タカシマ場所、ヲシヨロ場所が置かれた古い歴史を持つ小樽は、安政3年幕府により神威岬以北の女人禁制が解かれると、急激に人々が集まり、元治2年（1865）幕府はヲタルナイを村並とした。

明治2年（1869）開拓使がおかれると「ヲタルナイ」は「小樽」と呼ばれ、忍路、高島と共に小樽市の基礎ができます。この小樽は本府札幌の海の玄関として重視され、北海道開拓に大きな役割を果たし商業、経済、文化の拠点として道路、港湾、鉄道の整備が進み、人口も増加し急速に発展していきました。

第1回 明治期の小樽の概説史 ～港湾・鉄道・文化など～

開講日時／6月6日（木） 10:30～12:00

第2回 住吉屋西川家の日記にみる小樽～近江商人で明治の小樽で活躍した商人の膨大な日記から商人の膨大な日記から商都を読み解く！～

開講日時／6月20日（木） 10:30～12:00

講師／菅原 慶郎（小樽総合博物館学芸員）

- ◆ 会場／石狩市花川北コミュニティセンター（石狩市花川北3条2丁目Tel74-6525）
- ◆ 申込締切／5月23日（木） FAX・メールは土・日でも受付可能です。
電話での申し込みは平日（月～金）の9時～17時をお願いします。
- ◆ 受講料／カレッジ会員 800円・一般 1,000円（受講料2回分）
- ◆ 申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ運営委員会（石狩市公民館内）

TEL/FAX：0133-74-2249

メール：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

いしかり市民カレッジ

検索

※この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

